

令和4年度第5回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和5年2月15日（水）午後2時～午後3時
- 2 開催場所 消防本部 3階 多目的ホール
- 3 出席者
（委員）
藤田委員長、鳥居副委員長、土田委員、石川委員、田中委員、持永委員、
工藤委員、瀧野委員、室井委員、坂本委員
（事務局）
生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長兼青少年センター所長、
市民スポーツ課長、郷土博物館長、高洲公民館長、中央図書館長、
青少年課長補佐、生涯学習係（2名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題
 - （1）報告事項
 - 1）「浦安アートプロジェクト」ドキュメンタリー映像作品上映展の開催について
 - 2）「令和4年度 浦安市 成人式 二十歳の集い」開催結果
 - 3）令和4年度 第3回公民館運営審議会開催報告
 - 4）令和4年度 第2回図書館協議会開催報告
 - 5）社会教育関係行事案内

(1) 報告事項

各課の報告については、資料の配付をもって説明とした。委員からの主な意見・質問等は以下のとおり。

1) 「浦安アートプロジェクト」ドキュメンタリー映像作品上映展の開催について

委員長 ドキュメンタリー映像作品上映展は、「浦安アートプロジェクト」の第3弾の企画とのことである。これまでの企画に参加された委員の感想を伺いたい。

委員 「浦安アートプロジェクト」のキックオフのイベントに参加した。多くの参加者があり、市民の関心の高さを示していた。今後の展開にも期待しており、ドキュメンタリー映像作品上映展にも、参加の申し込みをした。

委員長 委員の感想からも、市民の関心の高さが伺われるが、これまでの企画の内容や今後の展望を伺いたい。

事務局 アートは形に残るものと思いがちであるが、市民がアートをつくる作業を通じて、市の施策や課題を理解していただくというのが、「浦安アートプロジェクト」の目的である。そこで、令和4年度は、9月にキックオフイベントを開催し、11月には、市内にあるポンプ場を会場としたワークショップを通じて、浦安の水害の歴史からポンプ場の機能を知ることのきっかけづくりができた。

 今後については、令和5年2月19日(日)から25日(土)まで、ドキュメンタリー映像作品上映展を開催する。これは、東京藝術大学でドキュメンタリー映像を学んでいる社会人受講生と大学生が、令和4年7月から水をテーマに市内を探索し、実際に市民にインタビューを行いながら作成した映像を、市民プラザWave101の市民ギャラリーにおいて、上映と展示を行うものである。2月19日(日)は、映画「浦安魚市場のこと」を製作した映像作家の歌川達人氏を招いてトークを行い、20日(月)は、東京藝術大学学長の日比野克彦氏からの講評などを交えたトークを行う。このイベントを通じて、浦安の魅力をもっと知ってもらいたい。

2) 「令和4年度 浦安市成人式 二十歳の集い」開催結果

委員長 来賓として、式典に参加させていただいた。前年度は式典を4回に分けて行ったが、今年度は2回になったことで、参加者は式典後のパーク内での時間を有効活用でき、十分

に旧交を温められたのではないかと思う。

また、今回の式典では、参加者全員で、上半身を使ったダンスを行った。実行委員が提案した企画とのことだが、ダンスを通じて、みんなでまとまろうという感じがあり、短い時間であったが、幸せな時間を過ごせたのではないかと思う。今までにない新しい試みで良かった。

3) 令和4年度 第3回公民館運営審議会開催報告

委員長

4点伺いたい。一つ目は、資料5-3の3ページに、県民の日に各公民館事業を行っているが、結果として参加者数が少なかったとある。今後の対応について伺いたい。二つ目は、4ページの高洲公民館の「心と体をほぐすYOGAリラクゼーション」は男女共同参画事業としているが、募集は女性だけとなっており、男性の募集がないことについて説明がほしい。三つ目は、高洲公民館の事業は募集人数10名の事業が多く、募集人数が少ないと思う。なぜ、募集人数が10名なのか。四つ目は、6ページの公民館情報誌「ルネサンス」の発行部数が2,000部とあり、小中学校にも配布していると回答しているが、全校の生徒数を考えるとどのようにして配布しているのか知りたい。

委員

今の質問に関連することなのだが、県民の日の事業で参加者が少なかったとあるが、少ない理由については、どのように考えているのか。事業の内容によるものなのか、それとも、県民の日は土曜日・日曜日以外の貴重な休みなので、他の用事で参加できないとも考えられる。それを考えると、県民の日に多くの事業を行う必要はないのではないかと思う。

また、高洲公民館の「心と体をほぐすYOGAリラクゼーション」については、委員長と同じことを疑問に思ったのだが、一方で、男女が同じ会場で一緒にヨガをすることには違和感がある。男性も含めた募集をするときは、男女を別の会場にすることを明記すれば、参加しやすくなると思う。

事務局

県民の日の事業の参加者数の少なさについては、PR不足もあったかと思う。開催時間帯なども考えて今後も行っていきたい。

高洲公民館の「心と体をほぐすYOGAリラクゼーション」は、女性の健康に特化した事業を企画したが、今後は、男

性の参加も視野に入れて企画を考えたい。

高洲公民館の事業の募集人数については、講師と相談のうえ決めているが、今後は、応募人数を増やしていきたいと考えている。

公民館情報誌「ルネサンス」の発行部数については、予算の関係上、2,000部としたところである。配布場所は、主に各公民館の窓口で、配布部数が少なくなった時点で、その都度、カラーコピーをして補充している。まなびねっとURAYASUやツイッターにも掲載しており、できるだけ、市民の皆様に情報を届けるよう努めている。また、保育園、幼稚園、小・中学校には、各100部配布しており、個人に配布というよりも、生徒に見えるところに設置してほしいことをお願いしている。

また、家庭教育学級の情報については、小・中学校のホームページに掲載していただいている。

4) 令和4年度 第2回図書館協議会開催報告

委員長

資料5-4の3ページで「中長期図書館計画はあるのか。」という質問に対して、「生涯学習推進計画のなかで位置づけているが、新型コロナの影響もあるため、全体的な見直しが必要と認識している。」と回答している。現時点で、どのような図書館事業の見直しを考えているのか伺いたい。

事務局

「第2次浦安市生涯学習推進計画」は、コロナ禍以前に策定されている。コロナ禍を経験して、令和5年度以降に、現在の事業の見直しが必要であると考えている。

5) 社会教育関係行事案内

意見・質問等はなし

(2) その他

1) 令和4年度葛南地方生涯学習振興大会の感想

委員長

令和5年2月10日(金)に、令和4年度葛南地方生涯学習振興大会がプラッツ習志野(習志野市)で開催され、浦安市社会教育委員も2名の委員が参加した。報告も兼ねて、感想などを伺いたい

委員

大会の内容は事例発表が2つ、講演が1つであった。事例発表の1つ目は、船橋市のふなばし市民大学の事例

だった。船橋市は、人口が浦安市の約4倍の約64万人で、規模の大きい市であるが、ふなばし市民大学校が2004年に開校しており、「まちづくり学部」と「いきいき学部」の2つの学部がある。「まちづくり学部」は、授業料が無料であるが、卒業したら、まちづくり活動のボランティアをしなければならない。「まちづくり学部」の学科として「船橋市生涯学習コーディネーター養成学科」を設置し、週1回、年間35日以上学び、公民館を拠点として「まちづくり」の活動をしている。公民館職員だけでなく、卒業生の生涯学習コーディネーターと一緒に「まちづくり」の仕掛人として活動している。市内5つのブロックに26の公民館があり、140名のコーディネーターが各公民館を中心に活動している。

コーディネーターの役割は、公民館主催事業の支援や共催事業の実施である。さらに、コーディネーターは、スキルアップ目的の「研修委員会」、会報誌「一番星通信」を発行する「広報委員会」、Zoomの運用や船橋市生涯学習コーディネーター（通称：コ連協）のホームページを作成する「情報化委員会」の3つの委員会に参加しているが、この委員会が、組織的に公民館活動をバックアップしており、浦安市でも取り入れたい活動である。

2つ目の事例は、船橋市PTA連合会の事例で、70年の歴史があるとの紹介があった。船橋市は、小中学校が82校あり、うち57校がPTA連合会に任意参加しているが、徐々に退会していつている状況である。

活動は、子どもたちの見守りをする「ひまわり110番」事業を行ったり、また、毎年、各学校のPTAから各学校で実現してほしい要望を聞き、船橋市PTA連合会でとりまとめ、市長や教育長に提出している。また、PTA研究会があり、例えば、保護者を対象にアンガーマネジメント研修会を行ったりしている。さらに、PTA会長研修会も毎年開催しているが、PTA活動が形骸化しないように多様な活動を行ってきている。

その他に、PTAの「T」にあたる先生の理解や支援促進も重視しており、大組織にも関わらず良く活動しており、学ぶところが多くあった。

委員

今の報告にもあったが、船橋市生涯学習コーディネーターの活動は 20 年にわたっており、市民のキャリアと学んだことを生かす素地ができていることに興味した。

個々の学校単位では予算などの関係でお呼びできないような講師を連合会で講師依頼していることや、講演会に参加できない人に対して、YouTube で配信したりして工夫もされていた。

また、講演会では、「地域で大人ができること」として、コミュニティスクールについてのお話があった。杉並区で取り組まれている様子や事例を伺い、私自身、日の出中学校のコミュニティスクール委員として、今後の検討にあたり大変参考になった。

講師の話を聞いて感じたことは、例えば、市民が「読み聞かせ」を小学校で行う場合、読み聞かせをしている人たちが、もっとよりよい読み聞かせをするにはどうしたらよいかということを考え、それが学びに繋がっていく。そして、その学びが、喜びになっていく。コミュニティスクールと生涯学習の連携を考える上で、とても参考になる講演会であった。

委員長

私も、船橋市 P T A 連合会の事例発表を聞いたが、苦勞されていることは、本市の小中学校 P T A 連絡協議会の会長も、船橋市 P T A 連合会の会長も同様であり、どちらの団体も、同じ志で頑張っていると感じた。

2) 今後の会議日程について事務局より説明

①令和 5 年度 第 1 回定例社会教育委員会議

日時：令和 5 年 4 月 27 日（木）午後 2 時から

場所：中央図書館 2 階 視聴覚室

②令和 5 年度 第 2 回定例社会教育委員会議

日時：令和 5 年 6 月 29 日（木）午後 2 時から

場所：中央図書館 2 階 視聴覚室

以上